

福生市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

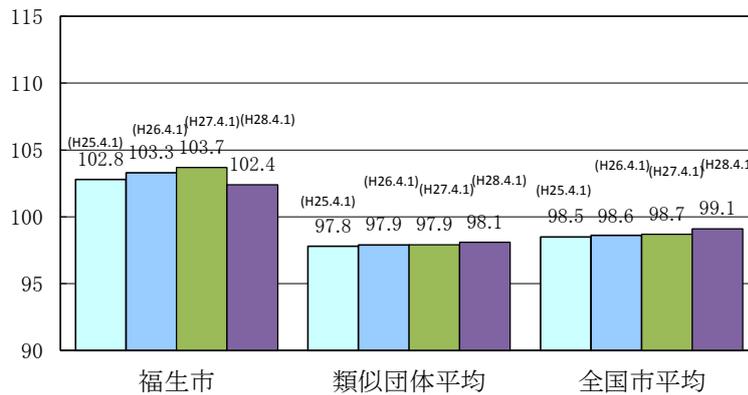
| 区分 | 住民基本台帳人口 平成28年1月1日 | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 平成26年度の人件費率 |
|--------|-----------------------|------------|-----------|-----------|-------------|---------------------|
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | % | % |
| 平成27年度 | 58,613 | 23,579,040 | 1,536,450 | 3,639,570 | 15.4 | 16.4 |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区分 | 職員数 A | 給与 | | | | 計 B | (参考)一人当たり 給与費 B/A | (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|--------|----------|-----------|---------|---------|-----------|--------|----------------------|------------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | | | | |
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 平成27年度 | 370 | 1,305,318 | 393,595 | 561,924 | 2,260,837 | 6,110 | 5,999 | |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、平成27年4月1日現在の人数です。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。
3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置が無いとした場合の値です。

※平成28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3%以上上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

東京都の給料表に準じているためラスパイレス指数が100を超えているものの、これまで東京都人事委員会の勧告に基づき給与水準の見直しを実施してきた。
また、職員の大量退職の時期であり、若年層の職員が上位職に任用される場合や新規採用職員の年齢要件を引き上げた採用を実施していることにより、ラスパイレス指数が高くなる傾向にある。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し【実施】

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日
(内容) 給料表は、東京都人事委員会勧告を踏まえ民間賃金と給与水準の均衡を図るため、給料表を平均1.7%引き下げた。福生市においては、地域手当の支給割合の変更が無いため、職員給与の引き下げの激変緩和のため、職員の給料格付けを旧給料月額の同額または直近下位に切替を実施した。

②地域手当の見直し

(支給割合) 変更なし(国基準15%、福生市15%)

③その他の見直し内容

国家公務員の通勤手当改定に伴い、交通用具使用者に対する通勤手当の月額を、使用距離に応じて改定。
市長、副市長、教育長の期末手当について、支給額の100分3.5を減額
管理職員の給料月額について減額(部長職100分の7.2、課長職100分の4.9)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成28年4月1日現在）

① 一般行政職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|------------------|
| 福生市 | 39.4 歳 | 303,100 円 | 405,310 円 | 371,649 円 |
| 東京都 | 41.6 歳 | 316,682 円 | 452,041 円 | 398,107 円 |
| 国 | 43.6 歳 | 331,816 円 | — | 410,984 円 |
| 類似団体 | 42.5 歳 | 320,058 円 | 386,078 円 | 350,303 円 |

② 技能労務職

| 区 分 | 公 務 員 | | | | | 民 間 | | | 参 考 (A) / (B) |
|---------|-------|--------|----------|-----------|--------------|-------------|-------|-----------|------------------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額(A) | 平均給与月額(国ベース) | 対応する民間の類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額(B) | |
| 福生市 | 52.3歳 | 20人 | 337,400円 | 417,125円 | 407,515円 | — | — | — | — |
| うち学校給食員 | 51.2歳 | 9人 | 344,200円 | 422,889円 | 418,622円 | 調理師 | 40.8歳 | 304,000円 | 1.39 |
| 東京都 | 48.8歳 | 1,510人 | 292,729円 | 395,396円 | 364,033円 | — | — | — | — |
| 国 | 50.4歳 | 2,876人 | 287,447円 | — | 329,358円 | — | — | — | — |
| 類似団体 | 50.6歳 | 34人 | 314,663円 | 344,997円 | 331,800円 | — | — | — | — |

| 区 分 | 参 考 | | |
|---------|---------------|------------|---------|
| | 年取ベース(試算値)の比較 | | |
| | 公務員(C) | 民間(D) | (C)/(D) |
| 福生市 | — | — | — |
| うち学校給食員 | 6,990,105円 | 4,145,800円 | 1.69 |

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成25年から27年までの3か年平均)

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 職員数の少ない職種の平均年齢、平均給料月額等は個人情報にあたるため、非公開とします。

※ 年取ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

(注) 1 「平均給料月額」とは、28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況（平成28年4月1日現在）

| 区 分 | | 福 生 市 | 東 京 都 | 国 |
|-------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 181,200 円 | 181,200 円 | 総合職 181,200 円 一般職 176,700 円 |
| | 高 校 卒 | 144,600 円 | 144,600 円 | 144,600 円 |
| | 技 能 労 務 職 | 高 校 卒 | 142,000 円 | 142,000 円 |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成28年4月1日現在）

| 区 分 | | 経験年数10年 | 経験年数20年 | 経験年数25年 | 経験年数30年 |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 276,833 円 | 376,933 円 | 399,543 円 | 429,260 円 |
| | 高 校 卒 | 254,775 円 | 335,850 円 | 352,450 円 | 390,140 円 |
| 技能労務職 | 高 校 卒 | - 円 | - 円 | - 円 | - 円 |

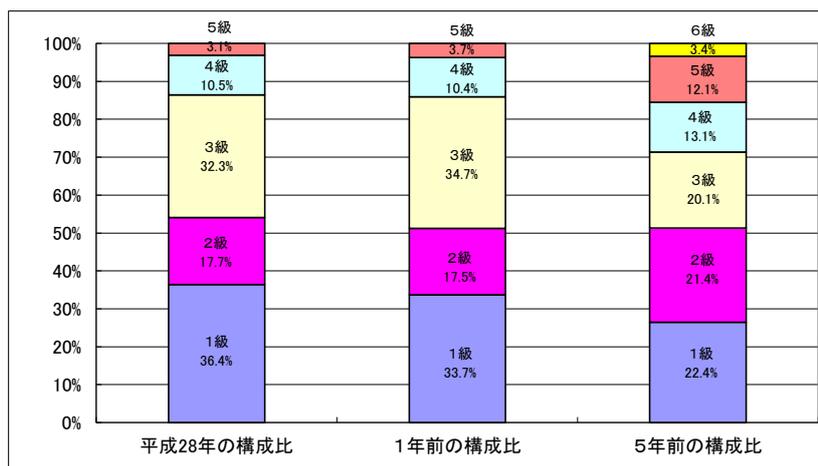
「-」は該当する職員・近似層の職員が3人以下の場合

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成28年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|-----------|------|-------|----------|-----------|
| 5級 | 部長又は参事の職務 | 9人 | 3.1% | 482,300円 | 526,700円 |
| 4級 | 課長又は主幹の職務 | 31人 | 10.5% | 284,000円 | 455,000円 |
| 3級 | 係長又は主査の職務 | 95人 | 32.3% | 224,800円 | 420,300円 |
| 2級 | 主任の職務 | 52人 | 17.7% | 198,500円 | 364,500円 |
| 1級 | 係員の職務 | 107人 | 36.4% | 140,300円 | 325,500円 |

(注) 1 福生市の一般職の職員の給与に関する条例に基づく行政職給料表（一）の級区分による職員数（再任用職員を除く）です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(注) 平成27年4月1日に6級制から5級制に変更しています。

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

1 勤務成績の評定の実施状況

職員の一人ひとりの職務遂行能力、仕事の成果、仕事に対する取組状況等を把握し、一定の基準と手続きに基づき人事考課制度を実施しています。
目標設定及び取組状況については、個人職務目標申告書をもとに、幹部職員が面接指導を行い職員の育成に役立てています。
評価結果については、職員の任用・給与制度、配置管理、人材育成等に積極的に活用していきます。

2 昇給への勤務成績の反映状況

全職員に対し、業績・能力・意欲評価の結果に基づき昇給区分（3号昇給～6号昇給（前年度末55歳以上の職員については（昇給なし～3号昇給））を決定しています。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 福 生 市 | 東 京 都 | 国 |
|---|---|---|
| 1人当たり平均支給額(平成27年度) 1,445 千円 | 1人当たり平均支給額(平成27年度) 1,776 千円 | — |
| (平成27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 (1.45) 月分 (0.80) 月分 | (平成27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.70 月分 (1.45) 月分 (0.80) 月分 | (平成27年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.60 月分 (1.45) 月分 (0.75) 月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務段階別役職加算 3%~20% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務段階別加算 3%~20% ・管理職加算 15%~25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況（一般行政職）

実施していない

(2) 退職手当（平成28年4月1日現在）

| (支給率) | 福生市 | | 国 | |
|------------|---------------------|-----------|---------------------|-------------|
| | 自己都合 | 勤奨・定年 | 自己都合 | 勤奨・定年 |
| 勤続20年 | 23.50 月分 | 23.50 月分 | 20.445 月分 | 25.55625 月分 |
| 勤続25年 | 31.50 月分 | 31.50 月分 | 29.145 月分 | 34.5825 月分 |
| 勤続35年 | 45.00 月分 | 45.00 月分 | 41.325 月分 | 49.59 月分 |
| 最高限度額 | 45.00 月分 | 45.00 月分 | 49.59 月分 | 49.59 月分 |
| 1人当たり平均支給額 | 3,063 千円 | 24,364 千円 | — | — |
| その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置(2%~10%) | | 定年前早期退職特例措置(2%~45%) | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成27年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当（平成28年4月1日現在）

| | | | |
|---------------------------|------------|---------|-----------|
| 支給実績(平成27年度決算) | 207,726 千円 | | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算) | 534,000 千円 | | |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 国の制度(支給率) |
| 全地域 | 15.0 % | 409 人 | 15.0 % |

(4) 特殊勤務手当（平成28年4月1日現在）

なし

(5) 時間外勤務手当

| | |
|---------------------------|-----------|
| 支給実績(平成27年度決算) | 94,246 千円 |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成27年度決算) | 294 千円 |
| 支給実績(平成26年度決算) | 74,237 千円 |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算) | 230 千円 |

(注) 休日給を含みます。

(6) その他の手当（平成28年4月1日現在）

| 手 当 名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国と異なる内容 | 支給実績 (27年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (27年度決算) |
|-------|--|----------|--|------------------|---------------------------------|
| 扶養手当 | ①配偶者 13,500円 ②欠配一子 13,500円 ③その他扶養親族 6,000円 ④16~22歳の子の加算 4,000円 | 異なる | ①13,000円 ②11,000円 ③ 6,500円 ④ 5,000円 | 27,616 千円 | 226,361 円 |
| 住居手当 | ・世帯主、世帯主に準ずる者のうち、満34歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるもので、自ら居住するため住宅を借り受け、月額15,000円以上の家賃(使用料を含む。)を支払っているもの 15,000円 ・その他の者 なし | 異なる | 賃貸住宅(限度額) 27,000円 | 5,475 千円 | 147,973 円 |
| 通勤手当 | ①交通機関 6ヶ月定期額(限度額55,000円) ②交通用具 通勤距離に応じて支給 | 同じ | ①6ヶ月定期額(限度額55,000円) ②通勤距離に応じて支給 | 16,665 千円 | 74,067 円 |
| 管理職手当 | ①部長級職 105,000円 ②課長級職 81,000円 | 異なる | 給料表、職務の級、区分ごとに定められた額 | 40,378 千円 | 859,106 円 |

5 特別職の報酬等の状況（平成28年4月1日現在）

| 区分 | 給料月額等 | | |
|------|-------|-------------------------------|-------------------------|
| | 給料 | 円 | (参考)類似団体における最高/最低額 |
| 給料 | 市長 | 858,000 | 1,000,000 円 / 560,000 円 |
| | 副市長 | 737,000 | 802,000 円 / 564,000 円 |
| 報酬 | 議長 | 527,000 | 575,000 円 / 341,000 円 |
| | 副議長 | 471,000 | 515,000 円 / 285,100 円 |
| | 議員 | 447,000 | 490,000 円 / 268,200 円 |
| 期末手当 | 市長 | (27年度支給割合) 4.30 月分 | |
| | 副市長 | (27年度支給割合) 4.15 月分 | |
| 退職手当 | 市長 | (算定方式) 退職日の給料月額×在職年数×100分の400 | (1期の手当額) 1372.8 万円 |
| | 副市長 | (算定方式) 退職日の給料月額×在職年数×100分の300 | (1期の手当額) 884.4 万円 |

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

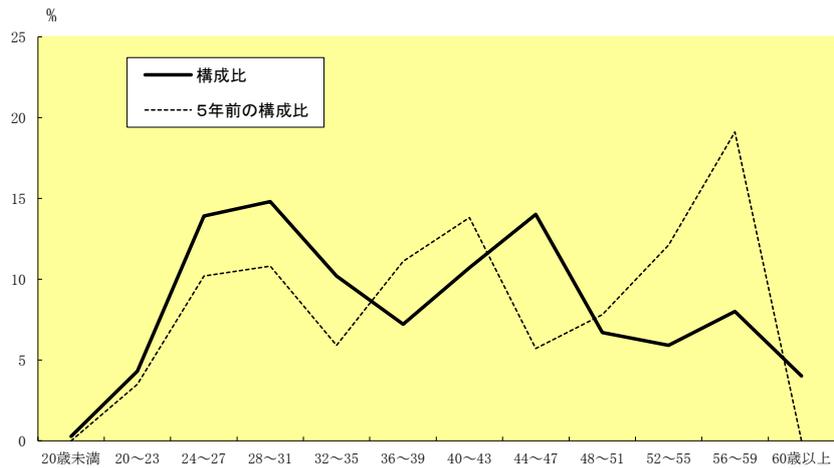
(各年4月1日現在)

| 部門 | 区分 | 職員数 | | 対前年増減数 | 主な増減理由 | |
|--------|--------|-------|-------|--------|---|--|
| | | 平成27年 | 平成28年 | | | |
| 普通会計部門 | 一般行政部門 | 議会 | 6 | 6 | 0 | |
| | | 総務 | 110 | 109 | ▲1 | 全国消防操法大会出場に伴う消防関係事務の増 新公会計制度運用業務等に関する増 国勢調査事務終了による減 マイナンバー制度導入終了による減 用務員の嘱託化による減 |
| | | 税務 | 23 | 23 | 0 | |
| | | 民生 | 55 | 56 | 1 | 障害者福祉施設・老人福祉施設等への指導監査体制準備に伴う増 |
| | | 衛生 | 27 | 27 | 0 | |
| | | 農林水産 | 3 | 3 | 0 | |
| | | 商工 | 6 | 8 | 2 | 中心市街地活性化支援に関する業務の増 定数の適正化に伴う増 |
| | | 土木 | 34 | 33 | ▲1 | 都市建設部参事の廃止に伴う減 |
| | 計 | 264 | 265 | 1 | <参考>人口1万人当たり職員数 45.21 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 59.93 人) | |
| | | 教育部門 | 72 | 74 | 2 | 特別支援教育に関する特定任期付職員の増 欠員の補充による増 |
| | 小計 | 336 | 339 | 3 | <参考>人口1万人当たり職員数 57.84 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 80.38 人) | |
| 公営企業等 | 下水道 | 6 | 6 | 0 | | |
| | その他 | 27 | 28 | 1 | 福祉保健部参事の廃止に伴う減 国民健康保険広域化準備業務等による増 欠員の補充による増 | |
| | 小計 | 33 | 34 | 1 | | |
| 合計 | | 369 | 373 | 4 | <参考>人口1万人当たり職員数 63.64 人 | |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。また、教育長及び公益法人への派遣を含み、再任用短時間勤務職員は除きます。

2 []内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成28年4月1日現在）



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 1人 | 16人 | 52人 | 55人 | 38人 | 27人 | 40人 | 52人 | 25人 | 22人 | 30人 | 15人 | 373人 |

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

| 区分 部門別 | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 過去5年間の増減数(率) |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 一般行政 | 262 | 267 | 266 | 262 | 264 | 265 | 3 (1.1%) |
| 教育 | 79 | 77 | 75 | 75 | 72 | 74 | ▲5 (▲6.3%) |
| 消防 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — (—%) |
| 普通会計 | 341 | 344 | 341 | 337 | 336 | 339 | ▲2 (▲0.6%) |
| 公営企業等会計 | 31 | 31 | 32 | 32 | 33 | 34 | 3 (9.7%) |
| 総合計 | 372 | 375 | 373 | 369 | 369 | 373 | 1 (0.3%) |

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数